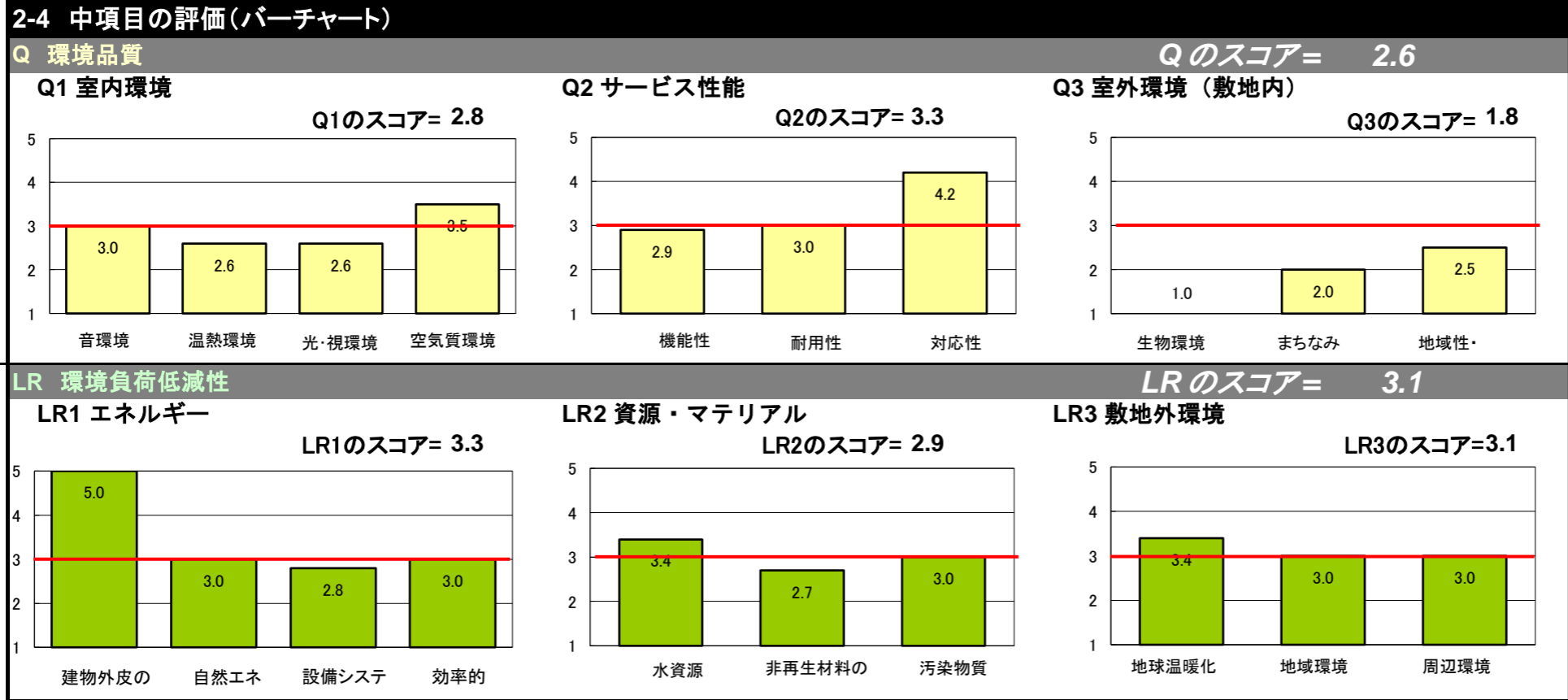
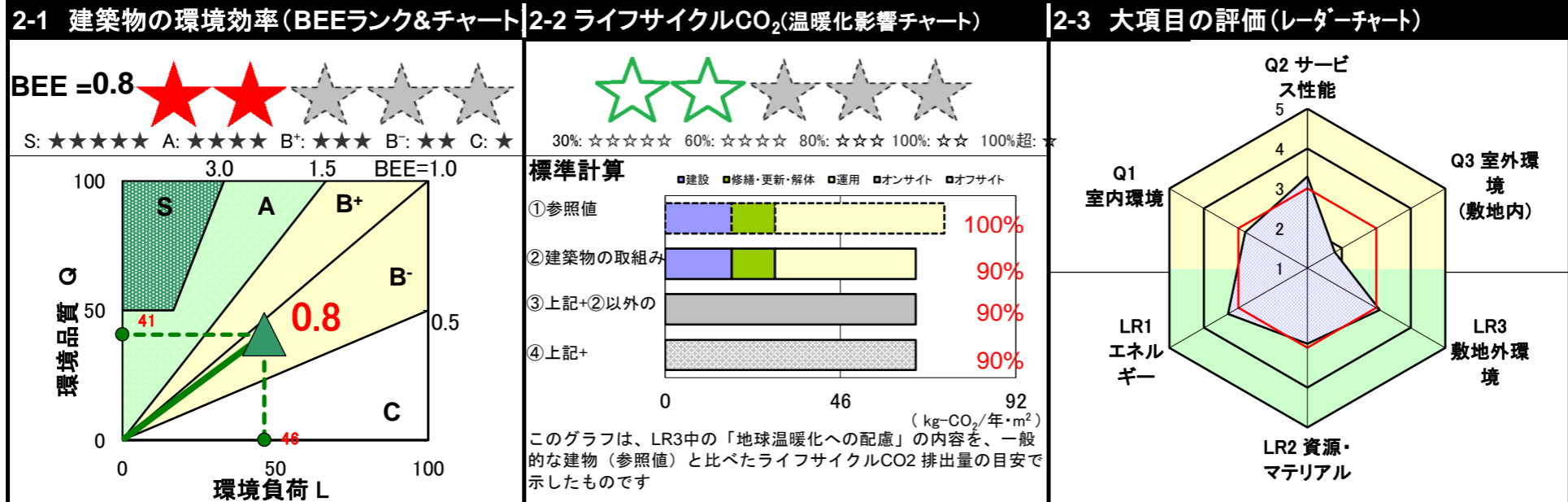


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	愛産樹脂工業㈱新工場	階数	地上3F
建設地	愛知県西尾市法光寺町五反田104-32	構造	S造
用途地域	用途地域なし、法第22条区域	平均居住人員	70人
気候区分	6地域	年間使用時間	6,000時間/年
建物用途	事務所,工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2023年4月 予定	評価の実施日	2022年3月15日
敷地面積	15,000 m ²	作成者	玉井 秀一
建築面積	3,541 m ²	確認日	2022年3月15日
延床面積	6,724 m ²	確認者	玉井 秀一



3 重点項目	
<p>①地球温暖化への配慮</p> <p>3.4</p>	<p>③敷地内の緑化</p> <p>1.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p>35.2 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p>0.0 %</p>
<p>②資源の有効活用</p> <p>3.1</p>	<p>④地域材の活用</p> <p>1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積(建築面積及び附属物面積)}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	独自基準	環境配慮設計の概要記入欄			評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数
	重点項目									
Q 建築物の環境品質										
Q1 室内環境										
1 音環境										
1.1 室内騒音レベル										
1.2 遮音										
1 開口部遮音性能										
2 界壁遮音性能										
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)										
4 界床遮音性能(重量衝撃源)										
1.3 吸音										
2 温熱環境										
2.1 室温制御										
1 室温										
2 外皮性能										
3 ゾーン別制御性										
2.2 湿度制御										
2.3 空調方式										
3 光・視環境										
3.1 昼光利用										
1 昼光率										
2 方位別開口										
3 昼光利用設備										
3.2 グレア対策										
1 昼光制御										
3.3 照度										
3.4 照明制御										
4 空気質環境										
4.1 発生源対策										
1 化学汚染物質										
4.2 換気										
1 換気量										
2 自然換気性能										
3 取り入れ外気への配慮										
4.3 運用管理										
1 CO ₂ の監視										
2 喫煙の制御										
Q2 サービス性能										
1 機能性										
1.1 機能性・使いやすさ										
1 広さ・収納性										
2 高度情報通信設備対応										
3 バリアフリー計画										
1.2 心理性・快適性										
1 広さ感・景観 (天井高)										
2 リフレッシュスペース										
3 内装計画										
1.3 維持管理										
1 維持管理に配慮した設計										
2 維持管理用機能の確保										
2 耐用性・信頼性										
2.1 耐震・免震・制震・制振										
1 耐震性(建物のこわれにくさ)										
2 免震・制震・制振性能										
2.2 部品・部材の耐用年数										
1 躯体材料の耐用年数										
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔										
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔										
4 空調換気ダクトの更新必要間隔										
5 空調・給排水配管の更新必要間隔										
6 主要設備機器の更新必要間隔										
2.4 信頼性										
1 空調・換気設備										
2 給排水・衛生設備										
3 電気設備										
4 機械・配管支持方法										
5 通信・情報設備										

欄に数値またはコメントを記入

3 対応性・更新性				0.2	4.2	0.29	-	-	-	4.2	
3.1 空間のゆとり				0.3	5.0	0.31	-	-	-		
1	階高のゆとり	②	事務所棟の階高=3.7m以上、工場棟の階高=6.4m以上 事務所棟の壁長さ比率=0.37、工場棟の壁長さ比率=0.098 積載荷重が50%割増値相当以上である。	-	5.0	0.60	-	3.0	-		
2	空間の形状・自由さ			3.0	5.0	0.40	-	3.0	-		
3.2 荷重のゆとり						3.0	5.0	0.31	-	3.0	-
3.3 設備の更新性						0.3	3.0	0.38	-	-	-
1	空調配管の更新性					-	3.0	0.17	-	-	-
2	給排水管の更新性					3.0	3.0	0.17	-	-	-
3	電気配線の更新性			3.0	3.0	0.11	-	-	-		
4	通信配線の更新性			3.0	3.0	0.11	-	-	-		
5	設備機器の更新性			3.0	3.0	0.22	-	-	-		
6	バックアップスペースの確保			3.0	3.0	0.22	-	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.39	-	-	-	1.8	
1	生物環境の保全と創出	独自③		-	1.0	0.30	-	-	-	1.0	
2	まちなみ・景観への配慮	独自④		-	2.0	0.40	-	-	-	2.0	
3 地域性・アメニティへの配慮				0.3	2.5	0.30	-	-	-	2.5	
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	独自④		-	2.0	0.50	-	-	-		
3.2	敷地内温熱環境の向上			-	3.0	0.50	-	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	-	-	3.1	
LR1 エネルギー					-	0.40	-	-	-	3.3	
1	建物外皮の熱負荷抑制		BPI=0.67	3.0	5.0	0.21	-	-	-	5.0	
2	自然エネルギー利用			3.0	3.0	0.11	-	-	-	3.0	
3	設備システムの高効率化		BEI=0.83	3.0	2.8	0.48	-	-	-	2.8	
4 効率的運用				0.2	3.0	0.20	-	-	-	3.0	
集合住宅以外の評価				1.0	3.0	1.00	-	-	-		
4.1	モニタリング			3.0	3.0	0.50	-	-	-		
4.2	運用管理体制			3.0	3.0	0.50	-	-	-		
集合住宅の評価				-	-	-	-	-	-		
4.1	モニタリング			-	3.0	-	-	-	-		
4.2	運用管理体制			-	3.0	-	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	-	2.9	
1 水資源保護				0.1	3.4	0.15	-	-	-	3.4	
1.1	節水		節水型便器を採用している。	3.0	4.0	0.40	-	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				0.6	3.0	0.60	-	-	-		
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	3.0	0.67	-	-	-		
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	3.0	0.33	-	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減				0.6	2.7	0.63	-	-	-	2.7	
2.1	材料使用量の削減			-	2.0	0.07	-	-	-		
2.2	既存建築躯体等の継続使用			-	3.0	0.25	-	-	-		
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	②	-	-	3.0	0.21	-	-	-		
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	独自	天井:ボード(ソーラトン 認定番号:第11123013号)	3.0	1.0	0.21	-	-	-		
2.5	持続可能な森林から産出された木材			3.0	-	-	-	-	-		
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	独自	躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている。	3.0	4.0	0.25	-	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避				0.2	3.0	0.22	-	-	-	3.0	
3.1	有害物質を含まない材料の使用			3.0	3.0	0.32	-	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避				0.6	3.0	0.68	-	-	-		
1	消火剤			-	-	-	-	-	-		
2	発泡剤(断熱材等)			-	3.0	0.50	-	-	-		
3	冷媒			3.0	3.0	0.50	-	-	-		
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-	-	3.1	
1 地球温暖化への配慮		①	ライフサイクルCO2排出率90%	-	3.4	0.33	-	-	-	3.4	
2 地域環境への配慮				0.3	3.0	0.33	-	-	-	3.0	
2.1	大気汚染防止		燃焼機器を使用していない。	-	5.0	0.25	-	-	-		
2.2	温熱環境悪化の改善			-	2.0	0.50	-	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制				0.2	3.0	0.25	-	-	-		
1	雨水排水負荷低減	独自		-	3.0	0.25	-	-	-		
2	汚水処理負荷抑制			-	3.0	0.25	-	-	-		
3	交通負荷抑制	独自	適切な量の駐車スペースと自転車置場を確保している。	-	5.0	0.25	-	-	-		
4	廃棄物処理負荷抑制			-	1.0	0.25	-	-	-		
3 周辺環境への配慮				0.3	3.0	0.33	-	-	-	3.0	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				0.4	3.0	0.40	-	-	-		
1	騒音	独自		-	3.0	0.50	-	-	-		
2	振動	独自		-	3.0	0.50	-	-	-		
3	悪臭			-	-	-	-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				0.4	3.0	0.40	-	-	-		
1	風害の抑制			-	3.0	0.70	-	-	-		
2	砂塵の抑制			-	3.0	-	-	-	-		
3	日照障害の抑制			-	3.0	0.30	-	-	-		
3.3 光害の抑制				0.2	3.0	0.20	-	-	-		
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			-	3.0	0.70	-	-	-		
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			-	3.0	0.30	-	-	-		

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.4
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.4	0.10	
② 資源の有効活用				3.1
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	4.2	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.7	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.12	外構緑化:35.2%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 愛産樹脂工業(株)新工場

計画上の配慮事項	
総合	建物全体の熱負荷抑制、対応性・更新性に配慮した計画とした。
Q1 室内環境	一部のガラスにLow-E複層ガラスを採用することで熱負荷の低減を図っている。
Q2 サービス性能	ゆとりある階高と荷重の設定により、対応性・更新性の配慮を行っている。
Q3 室外環境(敷地内)	既設の植栽を極力減らさない計画とした。
LR1 エネルギー	外壁に断熱性のある材料を採用している。 また、LED照明器具を採用している。
LR2 資源・マテリアル	事務室の床はフリーアクセスフロアとすることで、非再生性資源の使用量削減に配慮している。
LR3 敷地外環境	適切な量の駐車スペース、自転車置場を確保している。
その他	